

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
有限会社シャロン農園	役員 3人 正社員 1人 パート 3人	滋賀県近江八幡市	青年農業者の経営安定支援	専門家派遣回数 4回

相談内容・現状課題

■相談内容

(有)シャロン農園は、肉牛とブドウなどの果樹、アスパラガスの栽培を行っている。

今回、取締役で青年農業者の弓削田氏から、経営分析に基づく経営改善について相談があった。



農園で働く人たち

■現状課題等

- ① 肉牛部門の収益性が低い。
- ② 肉牛施設が老朽化しており、修繕や更新が必要となっている。
- ③ 果樹部門は、直売等により一定の収益性は確保できているものの、経営の柱になるほどの規模ではない。

相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

部門毎の経費の管理が不十分であったことから、経営分析に基づく経営改善策の提案、また新たな事業展開等を支援できるよう中小企業診断士兼経営コンサルタントの専門家を派遣した。

また、支援の過程の中で規模拡大と新たな雇用が必要になったことから、社会保険労務士を派遣し、円滑な雇用に向けた支援を実施した。

<提案内容>

- ① 部門別収支の明確化。
- ② 肉牛部門と果樹部門を合わせた総合的な事業展開について、議論・助言。
- ③ 雇用形態の違いや労働環境の整備の重要性について助言。



専門家等による支援の様子

相談者に対し、雇用するという事は人を育てていくことであり、そのためには休み等福利厚生も充実させる必要があるということを伝えることができた。

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

部門別の事業計画作成から収支を見直し、収益性を改善。果樹部門では、10a→22aへ規模拡大。特徴的な生産方式を活かし、ブランド化に向けたPRを行うことで新たに百貨店へ販路を拡大。新たに農大卒業生を雇用することができ、更なる規模拡大に向けた作業が進められている。



肥育する近江牛



ブドウ根域制限栽培

■コーディネーター所感

肉牛部門について、収益性改善を図ることができた。果樹部門も販売が好調であることから、規模拡大と収益の確保に向け、引き続き支援していきたい。

相談者は農業経営塾の修了生でもあり、経営改善に対する意欲が高かった。地域の青年農業者のリーダーとして今後の活躍に期待したい。